

授業科目名・形態	リエゾン精神看護論 講義	必修・選択の別	選択	単位数	1
科目担当者氏名	畠山 禮子	実務経験の有無	有	開講期	4年前期

【授業の主題と目標】

精神看護の知識や技術をその他の領域の看護に応用し、医療スタッフ間の連携を図ること、看護師のメンタルヘルス支援などの役割と機能をもつリエゾン精神看護について学ぶ。

【到達目標】

1. リエゾン精神看護とは何かを理解する。
2. 患者・家族の心の健康について理解する。
3. 看護師のメンタルヘルスについて理解する。

【授業計画・内容】

- 第1回 リエゾン精神看護とは
- 第2回 リエゾン精神看護に必要な考え方
- 第3回 チーム医療とリエゾン精神看護
- 第4回 一般科における直接ケア
- 第5回 コンサルテーション
- 第6回 看護師のメンタルヘルス支援
- 第7回 リエゾン精神専門看護師制度と教育
- 第8回 まとめ

【授業実施方法】

主に講義形式

【授業準備】

「病態治療学Ⅲ（精神疾患）」「精神看護学概論」「精神看護方法論Ⅰ」「精神看護方法論Ⅱ」「精神看護学実習」の復習を中心に行う。

【主な関連する科目】

「病態治療学Ⅲ（精神疾患）」「精神看護学概論」「精神看護方法論Ⅰ」「精神看護方法論Ⅱ」

【教科書等】

随時資料配布

【参考文献】

- 野末聖香 リエゾン精神看護 患者ケアとナース支援のために 医歯薬出版株式会社 2004.
- 坂田三允 精神看護エクスペール16 リエゾン精神看護 中山書店 2006.

【成績評価方法】

授業参加態度（50%）、課題への取り組み（50%）などにより総合的に評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

総合病院で看護職として患者や家族への対応等について経験。

実務経験から得た看護師としての技術や知識、チーム医療の重要性などについて授業に活かしていきたい。

【学生へのメッセージ】

現代社会において、ストレスを抱える人たちが増えてきています。身体を病む人や障害のある人も不安を抱えて生きています。このような人々を身体的、精神的、社会的側面を統合した人として捉え、ホリスティックケアを行うことが求められるリエゾン精神看護活動についても一緒に学びましょう。